



江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和7年3月18日 特別号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

選んだ道を正解にする

校長 小野満 賢

3年生の教室の日めくりがついに「残り1日」になりました。

明日はいよいよ卒業式です。この日に向けてたくさんの練習をしてきたと思います。細かいことはもう言いません。保護者の方、地域の方、後輩たち、教職員全員が皆さんの卒業を心から祝います。ぜひその思いを受け止め、気持ちを込めて、3年間の最高の姿を見せてくれることを期待しています。1・2年生はしっかりとその姿を目に焼き付けてください。

さて、3月3日の読売新聞に、「人間は1日のうちに最大 35,000 回も決断している」という話がありました。調べてみると、これは英国ケンブリッジ大学のバーバラ・サハキアン教授の研究によるもので、「目の前の現実は無数にある未来への道筋から一つひとつ選択を繰り返した結果だ」と言います。95%は無意識に行っている選択らしいのですが、残り 5%の 1,750 回ほどは大なり小なり自分で意識して選択をしているというのです。実感はありませんが、まさに「人生は選択の連続である」という言葉通りだと思いました。



人は選択した後で、あっちにしておけば良かった、向こうを選んでおけばもっと違っていた、と後悔することが多いのですが、それはあまり意味のないことですし、どの道を選ぶかはそんなに大きな問題ではないような気がします。なぜなら後悔したとしても時間を巻き戻してやり直せるわけではありませんし、そもそもどの道を進めば正解なのかは誰にも分からないからです。ですから、自分で選んだ道の方を充実させて、自分にとって正解だと思えるように努力することの方が重要なのです。

今回、高校受験で第一志望ではない進路に進む人もいるでしょう。悔しさはもちろんあるのですが、いつまでも悔いていても仕方ありません。

4月から新たな世界に一步踏み出すことは間違いありません。ここで出会う友だちや、先生、様々な経験はこれから行く学校でしか経験できません。そう考えて気持ちを切り替え、前向きな心もちで、自分自身が新たな高校生活を楽しみ、この学校に来て良かった、正解だったと思えるように頑張ることこそが大切なのではないのでしょうか。



私が幼い頃抱いていた将来の夢は、パイロットだったり、医者だったりしましたが、高校の頃には小学校の先生になりたいと思っていました。それから決して順風満帆の人生を歩んで来たわけではありませんが、これまで決断し通ってきた道は決して間違っていないかと思っています。なかなか思うように

いかず、回り道もしましたが、おかげでたくさんの方々との出会い、様々な文化に触れ、そこでしか味わうことのできない貴重な経験をしてきました。今私は、中学校で仕事をしていますが、本当にやりがいを感じています。(教員の仕事を「ブラック」と言う人もいますが、『こんなに魅力的な仕事はなかなかないですよ』と伝えたいです。もちろん大変なことも多いですが、それはどの仕事でも同じです。)

もちろん違った道もあったと思いますが、それは経験していないので何とも言えません。でも仮に生まれ変わってまた違う道を歩んだとしても、それが正解だったと思える生き方をしたいと思っています。

皆さんはこれからどのように歩んでいきますか。

幸せはいつも自分の心が決める 相田みつを 書家 (1924-1991)

※卒業式の予行の時の岡島先生の話と重なってしまいましたが、私からも伝えたい内容でした。

令和6年度の朝礼の話

「そういえば校長先生があんな話をしていたな」と思い出す日があれば嬉しいです。

4月7日(月) 1学期始業式

令和6年度が始まりました
「時間前に整然と集合」 当たり前できて素晴らしい。2年生は1年生の「手本」新入生に「さすが中学生」と思わせて欲しい。部活動・学習・趣味等々全てに一生懸命打ち込める時期。3年生は下級生の「目標」振る舞いや姿勢が下級生の目標となる。最後の行事は全力で。進路は自分自身の手で切り開く。

4月9日(火) 入学式

「新入生に努力して欲しいこと」
チャレンジ・思いやり・感謝の言葉
「学校は失敗していいところ」
 ・失敗を恐れず、自分で考え判断し、行動する力をつける。
 ・分からないことは先輩に聞こう。

4月15日(月) 朝礼

「目は口ほどにものを言う」
目は口よりも感情や考えが表れる
 ・人の話を聞くときは、相手の目を見て聞こう。気持ちを感じ取ることができる。
 ・大事な話をするときは、相手の目を見て話そう。気持ちが伝わる。
 ヒトはコミュニケーションをするために白目を進化させた。

5月20日(月) 朝礼

運動会で優勝するチームとは
 ①ケガや病気をせず、いいコンディションで本番を迎えられるチーム
 ②心をひとつにして戦えるチーム
 クラスには様々な生徒がいる。凸凹はあって当然。個々の生徒が全力で頑張り、互いにカバーし合えるチームが強い。

5月25日(土) 運動会

「全力」で臨んだからこそ、勝って嬉しい、負けて悔しい。
 全力で走り、踊り、係の仕事をし、応援し、そして全力で運動会を楽しむことができた素晴らしい運動会でした。
 「全力」は気持ちいい。「全力」を出したことがある人は、次も「全力」が出せる。人間誰しも「全力」を出さなければならない時がある。

5月31日(金) 部活動壮行会

運動会で実感した応援の力
応援は背中を押してくれる
松江六中のみんなが応援している!
 練習の成果を発揮しよう!
 悔いの残らないような試合を!

6月3日(月) 朝礼

「+αの気配り・心配り」があふれる松六にしよう
相手の立場になって考えよう。自分がされたら嬉しいことを進んでする。
 再来週は定期考査。計画的に学習を進めよう。やり方が分からない時は人に聞くこと。

6月17日(月) 朝礼

タイムアップの笛は、次の試合へのキックオフの笛である
 3年生、中学校での最後の大会お疲れ様。悔しいけれど勝者がいれば敗者がいるのは当たり前。この後はどうしますか? 高校でも続けますか? **試合終了の瞬間から次の試合は始まっています。**しっかりと準備を!

7月1日(月) 朝礼

①残り三週間をしっかりと過ごそう
 明日から三者面談。先生からのアドバイスは、先延ばしせず今から始めよう。この三週間の過ごし方で夏休みと2学期が決まる。
 ②地域のためにできることをしよう
 町会の盆踊り、お祭り、運動会、防災訓練、清掃活動などのボランティアに進んで参加し、**地域のために頑張る中学生**であって欲しい。

7月19日(金) 終業式

夏休みは、自分のやりたいことを思い切りやろう。但し、計画的に。
 4.4日間の長い夏休み。「やらなければならないこと」とのバランスが大事。区切り、切り替え、集中が大切。「やらなければならないこと」は後回しにせず、早めに片づけて「やりたいこと」を思う存分にやろう。地域ボラ、挨拶・返事が大切。そして笑顔で。

9月2日(月) 2学期始業式

2学期は忙しい。だからこそ、
 ①先を見通して動こう。
 ②自分で計画し、実行しよう。
 ・10月、中心が3年生から2年生に移る。「文化祭」がある。その他多くの行事・イベントに向けて準備を。
 ・3年生は進路に向けて勉強しつつ、行事では**圧倒的な力と団結力**を見せて欲しい。
 ・お祭りでの中学生の活躍に感謝。今週末の町会の運動会を始め、今後もボランティアに積極的に参加しよう!

9月30日(月) 朝礼

とてもいい修学旅行でした
 ☆指示される前に自分たちで行動した
 ☆係の生徒が**仕事に責任をもち、皆に声をかけた**
 ☆修学旅行を成功させようと**皆が協力した** Good!
誰かに言われる前に、行動できるようになる
 明日から後期。3年生は6分の5が終了、2年生はちょうど折り返し地点、1年生は6分の1が終了。**先を見て、より充実した生活を送ろう。**

10月7日(月)朝礼

「1点」を大切に

たった1点が合否を分けることがある。
たかが1点、されど1点。努力して1点を積み上げていくことが大切。
今日からテスト返却。間違えたところを**次にできるように**することが勉強。**今が勉強のチャンス!**



11月5日(火)朝礼

11月1日開校記念日 48歳

松江五中(64歳)が母体。1976年4月、松江五中から分かれ、2年生120名、新入生194名、計314名でスタート。船舶の「錨」の製造工場跡地に創られた。同年11月1日の開校記念式典で校歌が披露された。卒業生は6018人。**48年分の歴史の重さを知り、卒業生に誇れる学校にしよう。**

11月25日(月)朝礼

①**テストの見直しをするのは今。**返されて**悔しいと思う今が頭に入る時。**次にできるように、似た問題に立ち向かうために
②**挨拶や返事、姿勢は一朝一夕では身に付かない。**普段の姿が面接では表れる。**普段からそれを実践しよう。**



12月16日(月)朝礼

「体罰」や「性暴力」をされたり、友だちがされているのを見たり聞いたりしたら、ひとりで抱え込まず、**信頼できる大人に相談をしよう。**「暴力」は絶対に許されません!
校長先生をはじめ、松江六中の先生方は、全力で皆さんを守ります。



12月25日(水)終業式

健康で安全な冬休みを! **ブレーキは効くのか、きちんとかけられるか?**
言葉巧みに近づいてくる様々な誘惑を断ることができるか。その場を離れる、危険な場所や人には近づかない。
自分の「ブレーキ」のメンテナンスをしっかりと!



1月8日(水)3学期始業式

①**インフルエンザ流行中・注意!**
②**良い習慣を身に付けよう**
③**3学期を制する者は来年度を制す**
4月からの自分の姿をイメージし、準備を始めるのはまさに今。「礼儀」の他「早起き」や「家庭学習」等、身に付けたいと思う良い習慣は**今から**取り組む。



1月27日(月)朝礼

メンタルを強くするには

①**厳しい方を選択する**
楽な方に行くともメンタルは弱くなる。ちょっと難しい・厳しいものに挑戦する。自分に負荷をかけることが大事。
②**失敗や挫折を糧にして頑張る**
挫折を知らない負けを知らないメンタリティは弱い。チャレンジして負けや失敗を克服していくことでメンタルは強くなっていくもの



2月3日(月)朝礼

いよいよ受験本番。学校を挙げて3年生を応援しよう。
2月10日(月)~私立一般
2月21日(金)都立一次・分割前期
どういふ心もちで本番を迎えたいか。こそこの場面**で本来の力を発揮するには。**
来年度から最終下校時刻は**1年間通して6時。**

2月17日(月)朝礼

3年生は4日後都立一般入試本番
①**名前をしっかりと書く。**自分が自分である証。今まで頑張ってきた自分を信じ、これから頑張るぞという気合を込めて。
②**難しい問題は皆難しい。簡単な問題こそ丁寧に、見直しをしっかりと。**
③**学年末考査は、入試・オーディション・発表会等、人生の幾つかある「勝負の時」に自分の本来の力を発揮するための練習。**

3月17日(月)朝礼

「背中」を意識しよう

思いの溢れる三送会素晴らしかった。自分の背中は見えないが、他人の背中**はよく見える。**卒業式ほど**背中に注目される**行事はない。真剣さや本気度が表れる場所。**背中もカッコいい**
松六の生徒であって欲しい。



職員玄関に並べられた花々
いよいよ出番です!

小中連携「西一之江小学校朝のあいさつ運動」3/4(火)~7(金)

西一之江小学校との連携事業の今年度の最後を飾る「あいさつ運動」が、3月4日(火)から7日(金)にかけて行われました。今回は1組の生活委員が、朝7時55分から8時10分までの15分間、西一之江小学校の2箇所の門に立ち、あいさつ運動を行いました。小学生にとっては標準服姿の中



学生が新鮮に映るようです。中学生のお兄さんお姉さんの姿を見つけて、いつも以上に元気よくあいさつをする小学生の姿が印象的でした。日頃中学校の正門であいさつをしている生活委員のある生徒は、「中学生より元気だった」と言っていました。

あいさつ日本一を目指している松江六中です。4月に入学してくる新入生に、「中学校のあいさつはやっぱり違うな」と思ってもらえるように、頑張りましょう。

3年生・薬物乱用防止教室 3/7(金)⑥

3月7日(金)6時間目、講師の日本薬物対策協会から、中西 亮子さんをお迎えして、薬物乱用防止教室を開催しました。中西さんは日本リンパ美容学院学院長をされていますが、薬物に対するお考えや、セラピストとしての経験から、薬物が人体に及ぼす悪害やその後の人生に与える影響を伝えるために、全国を回り数々の講演をされています。

薬物に最初に手を出す時期は、80%以上が20代だということで、これから中学を卒業していく3年生を対象に行ったものです。薬物はいけないものと分かっているが、親しい友だちや先輩からの勧めで始めてしまうケースが多いため、中西さんからは勧められたときの有効な「断り方」について学びました。大学の新歓コンパで、一気飲みをして死亡したケースにあるように、薬物は合法であろうと違法であろうと、摂り過ぎると死に至るものであり、その境目は誰も知らないのだというお話が印象的でした。

薬物は最初に味わった高揚感を二度目では感じにくくなり、より大量のより強い薬物を求めるようになり、最終的には覚せい剤に手を出してしまうケースが多いそうです。大麻やコカイン・MDMA・覚せい剤に手を出してしまった経験者本人の話の聞いたり、身近にある市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)についても触れ、将来絶対に薬物には手を出さないように、正しい判断ができるように指導していただきました。

ご協力を賜りました日本薬物対策協会をはじめ、小松川警察署、読売防犯協力会 読売センター松江の方々に感謝を申し上げます。



3年生・卒業遠足 3/12(水)「富士急ハイランド」

多目的室で行われた出発式。外はあいにくの小雨が降っていました。

「3年生の皆で行く最初で最後の卒業遠足、たくさんの思い出を心に刻みたい！」その願いが通じたのか、富士急ハイランドは曇り空ながらも時折薄日が差す、まずまずの天気でした。

富士急側の話として、この日が卒業遠足のピーク日ということで、都内だけでなく静岡県下から2,000人ほどの学生が詰めかけたということです。バスを降りてクラスごとに集合写真を撮り、入場ゲートをくぐってからクラスの枠を外した班行動が始まりました。スタート時には人気のアトラクションには長い列ができ、富士急ハイランドの代名詞である「FUJIYAMA」の待ち時間が200分と表示されていました。

気の合う仲間同士、思い思いのコースでアトラクションを楽しんだり、食事をしたり、買い物をしたりして楽しく過ごせたようです。「バスの集合場所まで戻るように」と場内アナウンスが流れる少し前の2時くらいに雨が本降りとなり、外のアトラクションも休止したため、踏ん切り良く切り上げるこ

ができました。3時過ぎにバスは帰路につきました。都内は相変わらずの雨模様で、予想はしていたものの渋滞がひどく、到着が予定時間をだいぶ回ったために車内解散となりました。



3年球技大会 3/13(木)②~④

3年生は3月13日(木)に、最後の学年行事として球技大会を開催しました。クラス対抗で、校庭でサッカー(前半:女子、後半:男子)、体育館でバレーボール(男女別、1試合2セット)を行いました。

自分のクラスへの熱い応援だけでなく、他のクラスのファインプレーにも大きな歓声と拍手が起こり、3年生全体が一つになって競技を楽しんでいる様子が見られました。

閉会式では、松江六中の校庭や体育館でみんなで運動をするのもこれが最後だとしみじみ感じた瞬間がありました。心に咲く思い出の花が増えました。

実行委員として競技の進行、審判を務めてくれたみなさん、朝早くからコート設営を手伝ってくれた3年生バレーボール部のみなさん、ありがとうございました。





総合優勝	3組
サッカー優勝	1組
バレーボール優勝	3組

(文責：3学年球技大会担当 若狭 俊)

3年生を送る会 3/13 (水) ⑥

この日行われた「3年生を送る会」は、松江六中らしいとても温かい会になりました。お世話になった3年生への感謝の気持ちを伝えようと、1・2年生の中央委員会のメンバーが中心となつてずいぶん前から準備を進めてきました。演出にもいろいろと工夫を凝らし、改善を重ねて、本番は笑いあり、涙ありの心のこもった素晴らしい会になりました。

吹奏楽部の演奏で入場する際にすでに感極まっている3年生の姿もありました。各クラスや部活動の後輩たちからのビデオメッセージで笑いがあり、そして3年の先生方一人一人からのほなむけの言葉が流されると、多くの3年生が涙を拭っていました。

お互いに向かい合って合唱するのはこの日が最後です。在校生による「春風の中で」、3年生による「3月9日」どちらも心のこもった素敵な合唱でした。

終わりの言葉に続き、カウントダウン係が場を盛り上げた後、美術部が製作したくす玉が割られ、無事に「ご卒業おめでとうございます」のメッセージが書かれた垂れ幕が下りてきました。吹奏楽部の演奏と拍手に送られて3年生が笑顔で退場していきました。

会の後、鈴木先生から在校生へ感謝の気持ちが伝えられました。また在校生の合唱「春風の中で」がとても素晴らしかったこと、松六の伝統である合唱をこれからもしっかりと引き継いで欲しいというお話がありました。在校生の背筋をピンと伸ばした姿と真剣な表情が印象的でした。

<3年生を送る会プログラム>

3年生入場 (吹奏楽部演奏)	
プラカード先導	(2-1)
	(2-1)
	(2-3)
1 はじめの言葉	(2-3)
2 校長先生のお話	
3 クラス・部活動からのメッセージ動画 ・3年生の先生方から	
4 贈る言葉	(2-2)
	(2-3)
在校生による合唱「春風の中で」	
指揮	(2-1)
伴奏	(1-3)
5 お礼の言葉	(3-2)
3年生による合唱「3月9日」	
指揮	(3-1)
伴奏	(3-1)
6 終わりの言葉・くす玉割り	
終わりの言葉	(2-1)
カウントダウン	(2-1)
//	(2-3)
//	(2-3)
くす玉割り	(1-1)
//	(1-3)
3年生退場 (吹奏楽部演奏)	
・実行委員プラカード先導)	
	敬称略





六中生の活躍

東京都中学校体育連盟体育優良生徒表彰

(3-1)

(3-1)

東京都産業教育振興会優良卒業生表彰

(3-1)

(3-2)

江戸川区健康努力生徒表彰

(3-1)

(3-2)

(3-3)

江戸川区パレーボール連盟優良生徒表彰

(3-3)

第3回江戸川っ子読書科コンクール奨励賞

(3-1)

令和6年度生徒会ボランティア活動表彰者 (スタンプ30個以上取得者)

(3-1)

(3-2)

(3-2)

(3-2)

(3-3)

(3-3)

(3-3)

(2-1)

(2-1)

(2-1)

(2-1)

(2-2)

(2-3)

(1-1)

(1-1)

(1-2)

(1-2)

(1-2)

(1-2)

(1-3)



生徒会本部役員頑張っています

生徒会新聞「錨」にも掲載されていましたが、本校の生徒会役員は、生徒会長の _____ を中心に、より良い学校づくりのために積極的に活動しています。 _____ 君は1年生の後期に生徒会本部役員に立候補した時も、西門の開門を公約にしており、昨年度から何度か校長にも要望を伝えに来ています。その時は、「正門と西門の両方を開けるのは、学校の安全管理上難しい」という学校の考えを伝えました。



2/12(木) 校長先生との意見交換会

今回は生徒会長として、改めて公約を達成するために、具体的な案を携えて、本部役員全員で校長室を訪れました。話し合いの一部を紹介します。

生徒 西門開門に向けて一步でも前に進めたいと思います。生徒会として頑張っている姿もアピールしたいです。新たな提案として、月ごと、学期ごとに門を交代で開けられませんか。

校長 正門・西門二つ同時に開けるのは安全管理上問題があるけれど、片方ずつ開けるといのは斬新な考えですね。しかし様々な問題が考えられます。地域や保護者の他、学校に出入りする業者等の理解を得られるかどうか。正門側に比べ、西門側の狭い入口が登校に適するものかどうか。現在も臨時で年3回ほど西門を開けていますが、常に見守る人がついています。月ごとや学期ごとに常時開けることについて、近隣住民の理解を得られるかどうか分かりません。テニス部は朝練の後、テニスコートから西門側に回る必要がありますね。そもそも西門を開けて欲しいというニーズは本当に多いのですか。

生徒 「目安箱」に「西門を開けて欲しい」という投書がありました。でも校長先生がおっしゃるように、ニーズが本当にあるのかアンケートを実施したいと思います。以前にやっとうまくいかなかった経緯があります。

校長 西門を開けることによってより通学時間が短くなって便利になる人もいますが、かえって遅刻者や朝の当番活動に遅れる生徒が増えるのではないかと心配があります。公約なので一步でも前に進めたいという気持ちは分かりますが、約50年も開けなかった西門を開くのはかなりハードルが高いですね。

(中略)

校長 今やっていることを工夫してさらに充実させていくことにエネルギーを費やしてみたらどうですか。「朝清掃のおみくじ」について朝礼で話がありましたが、詳しく教えてください。あれは参加者がひくのですか？

生徒 朝清掃はだいたい同じメンバーで、20人程度が参加しています。学校周辺と一本先の道までです。おみくじは役員が引いて、2倍が出れば参加者全員のポイントが2倍になります。

校長 なるほど、よくわかりました。今のことが生徒全員にきちんと伝わっているのでしょうか。エコキャップを集めて縦割りで競って表彰しましたが、その後エコキャップはどうしているのですか。

生徒 そのまま取ってあります。ワクチン費用のために集めましたはまだユニセフに送れていません。

校長 藤田先生と相談して、ユニセフに送るところを写真で撮って、皆に伝えと、生徒会の活動としてアピールできるのではないですか。目安箱や生徒会報「錨」での今後の工夫は何かありますか。

生徒 目安箱への意見は本当に見ているのかという問い合わせがあったので、それに対する回答を載せようと思っています。「錨」には4コマ漫画を載せる予定です。スキー移動教室の実行委員日より「雪のしらせ」で好評だったので。

校長 昔はベルマークを集めて冷水器を購入したりしましたが、手間も時間もかかります。生徒会交流会等に参加して、他校の取組で良いなと思ったことはありませんか。

生徒 運動会で生徒会種目の部活動対抗リレーがあって、これはやってみたいと思いました。全校で生徒会主催のレクをやっているところもありました。

校長 先生方に今まで勤務していた学校の生徒会でどんな活動をしてきたか聞いてみたらどうですか。いろいろな学校を知っているでしょうし、自分の経験でもいいですし。

生徒 それはぜひ聞いてみたいです。

(後略)

